

7 月はシャボン玉月間・首長メッセージ①

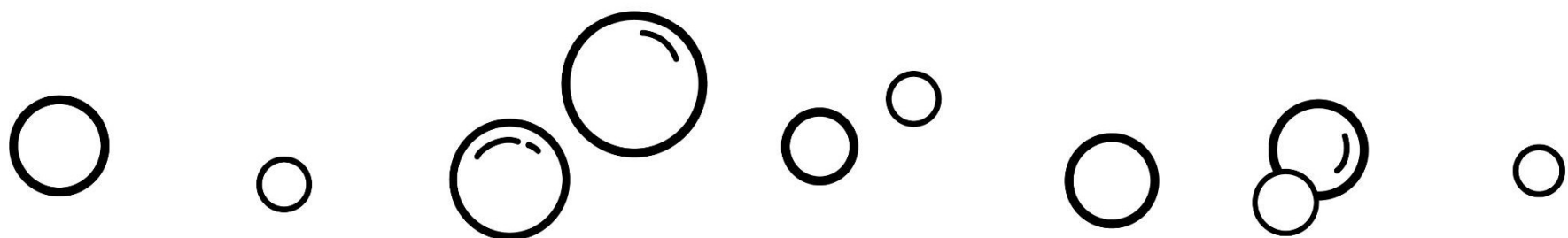
せっけん運動ネットワークは石けんの使用を入り口に水環境を守る視点から、幅広く暮らしを見直そうと活動している団体です。毎年 7 月をシャボン玉月間とし、全国の自治体の首長からメッセージを集め冊子にまとめています。

あいコープみやぎもせっけん運動ネットワークに加入しており、石けん環境委員会では地区委員会にもご協力頂き、宮城県内の各市町村にお願いしてメッセージをいただきました(メッセージは 2026 年 5～6 月にいただいております)。

シャボン玉月間によせて 宮城県知事 村井 嘉浩 宮城県では、自然の水循環がもたらす恵みが現在から将来にわたって持続的に享受されるよう、「みんなでつなぐ命の水～守り、育て、未来へ～」を基本理念とした水循環保全基本計画を策定しています。この計画に基づき、県民、事業者、民間団体等と協働・連携しながら、健全な水循環の確保を目指した取組の推進に努めております。 貴会の「せっけん運動」は、より良い自然の水循環の実現に向けた身近な生活排水対策の一つとして、水環境の保全に寄与しているものと認識しております。これまでの長きにわたる取組に敬意を表しますとともに、今後、運動の輪がますます広がることを祈念申し上げます。	「せっけん使おう! 7 月はシャボン玉月間」に寄せて 仙台市長 郡 和子 仙台市は、広瀬川の清流をはじめとする水辺環境と豊かな緑に恵まれ、「杜の部」として市民の皆さまとともに自然を守り育ててまいりました。 本市では、「杜の都環境プラン」に基づき、水質保全や自然共生、脱炭素の取り組みを 柱に、持続可能なまちづくりを進めております。 水環境を守る日々の実践は、未来の世代に清らかな自然を引き継ぐための大切な一歩です。 結びに、貴会の長年にわたる水環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、今後のさらなるご発展を心よりご祈念申し上げます。
「シャボン玉月間」に寄せて 石巻市長 齋藤 正美 石巻市は、宮城県の北東部に位置し、北上山地や牡鹿半島、仙台平野、北上川、旧北上川、追波湾や石巻湾など変化に富んだ地形を有しており、稲作をはじめとする農産物の生産が盛んであるほか、世界三大漁場の一つである金華山沖漁場を控えるなど、豊かな自然環境に恵まれたまちです。 この環境を次世代に継承していくため、令和 8 年 3 月に新たな環境基本計画を策定しました。望ましい環境像として「共に創る 持続可能な美しいまち いしのまき」を掲げ、市民、事業者、行政が協働して環境保全活動に取り組んでおります。 貴会の長年にわたる活動に心より敬意を表するとともに、この活動の輪がますます広がりますことを心より御祈念申し上げます。	「シャボン玉月間」によせて 岩沼市長 鬼澤 聡 岩沼市は東に全長 47 キロにおよぶ貞山運河、南に那須連山に源を発する阿武隈川が流れ、その豊かな水により育まれた田園風景と千貫丘陵の緑に恵まれています。また、東北の玄関口である仙台空港が所在し、JR 東北本線・常磐線、国道 4 号・6 号の合流点でもあり、美しい自然と交通の便に優れた都市空間が両立するまちです。 本市では、「第 2 次岩沼市環境基本計画」を新たに公表し、未来を見据えた環境政策の新たなスタートを切ったところです。本計画では、単なる環境保全にとどまらず、人と自然が共に生きる持続可能なまちを次世代につないでいくため、市民・事業者とともに行う一斉清掃事業「早朝クリーンいわぬま」や、夏休みの企画として「親子で学ぶ環境教室」の開催など、環境に対する意識向上を図る施策に取り組むこととしております。 貴会が長年にわたり取り組んでいる活動に敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の更なるご発展をご祈念申し上げます。
シャボン玉月間によせて 大崎市長 中島 源陽 本市は、ラムサール条約湿地の蕪栗沼・周辺水田や化女沼をはじめとする豊富な自然環境に恵まれ、「持続可能な水田農業を支える『大崎耕土』の伝統的水管理システム」が世界農業遺産に登録されております。 さらに『SDGs 未来都市』として、この世界農業遺産の価値と連動した持続可能な地域づくりを推進する中、先人から受け継いだ良好な水環境を市民の皆さまと共に守り育て、人と自然が共生する大崎の恵みを次世代へ大切に受け継いでいきたいと考えております。 貴会が長年取り組まれている「せっけん運動」に、心から敬意を表しますとともに、この運動が消費者意識の変革と豊かな自然環境を未来へ継ぐ活動になりますことをご祈念申し上げます。	「せっけん使おう! 7 月はシャボン玉月間」に寄せて 大郷町長 石川 良彦 大郷町は、宮城県のほぼ中央「宮城のへそ」に位置し、町土の 7 割を森林と農地が占め、町中央部には一級河川吉田川が流れる自然に恵まれた町です。 豊かな広がりを見せる水田地帯には、春の田植え後の緑色から、収穫期の秋には黄金色のじゅうたんが夕焼けに映える田園風景を望むことができ、町の宝でもある豊かな自然を、守り育て、次の世代へ繋げていかなければならないと感じております。 本町は今後も「田園と丘陵の織りなす町土を慈しみ、その恵みを町の魅力や活力につなげるまち」を目指し、まちづくりに取り組んでまいります。 長年にわたり環境に配慮した石けんを使用し、水環境を保全する活動をされている貴会の活動に敬意を表しますとともに、その活動の輪がより一層広がりますことを心よりお祈り申し上げます。

7 月はシャボン玉月間・首長メッセージ②

シャボン玉月間に寄せて 大衡村長 小川 ひろみ 大衡村は、宮城県のほぼ中央に位置し、村内を流れる善川及び埋川沿いに広がる平坦部から構成されており、森林、原野、農地が広がっている自然豊かな村です。 この豊かな自然を守るためには、皆さん一人ひとりの取り組みはもちろん、地域、事業者等との連帯・協働した取り組みの推進が大切です。 本村では、廃食用油を回収し、軽油の代替燃料であるバイオディーゼル燃料のリサイクルに取り組んでおり、今後も様々な環境保全に努め、より良い環境を次世代に引き継ぐための取り組みを続けていきたいと考えております。 今後も貴会のますますのご発展とご活躍を心よりお祈りいたします。	「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて 加美町長 石山 敬貴 加美町は、雄大な薬菜山や世界農業遺産「大崎耕土」の水源地である鳴瀬川の清流など、豊かな自然と美しい水資源に恵まれた町です。この清らかな水環境と人々の健康を次世代へ引き継ぐため、河川の水質維持活動の推進を、重要な施策と位置付けております。 この環境への想いに寄り添うものとして、薬菜山の麓で栽培された希少な薬用植物「ムラサキ」を使った紫根石鹸が製品化されています。肌に優しい「シコンエキス」を、純粋無添加の石鹸に配合して丁寧に仕上げた、自然への負担も少ない逸品です。ぜひご利用いただければ幸いです。 シャボン玉月間は、一人一人の身近な選択が環境を守るという意識を新たに作る素晴らしい機会と感じています。皆様の取り組みに敬意を表し、環境に優しい輪がなおいっそう広がりますよう、心よりご祈念申し上げます。
「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ 栗原市長 佐藤 智 栗原市は、ラムサール条約湿地の伊豆沼・内沼や、国立公園に指定された栗駒山をはじめとする豊かな自然環境に恵まれた地域です。 こうした豊かな自然環境を未来へ引き継ぐため、本市では、栗駒山麓の地形や景観を教育、学術研究、観光、防災などに活用するジオパーク活動をはじめ、持続可能な地域づくりに取り組んでおります。 環境問題への対応は、一人ひとりが日々の暮らしを見つめ直し、環境に配慮した行動を積み重ねていくことが重要です。 貴会が長年にわたり取り組まれている、せっけんの利用を通じた環境保全活動に心から敬意を表するとともに、本運動が広く地域に浸透し、明日を担う子どもたちへ豊かな自然環境を引き継ぐ契機となりますことを祈念申し上げます。	シャボン玉月間に寄せて 塩竈市長 佐藤 光樹 三陸の豊かな海に抱かれた塩竈市は、美味しい魚と美しい港、そして歴史ある景観を誇る「みなとまち」です。海がもたらす多くの恵みは私たちの宝であり、未来を担う子どもたちへ誇りを持って引き継いでいくことが、今を生きる 私たちの使命です。 現在、本市では「第 3 次塩竈市環境基本計画」のもと、SDGs の達成やゼロカーボンシティの実現に向けたまちづくりを推進しています。市民、事業者 及び行政が一丸となり、千賀の浦の美しい景観や豊かな海の幸を守るための水 辺の保全に努め、持続可能な地域社会の実現に向け、引き続き実効性のある各種施策に全力で取り組んでまいります。 結びに、貴会の長年取り組まれている「せっけん運動」による水環境保全に 向けた活動に深く敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展をご祈念申し上げます。
「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて 七ヶ浜町長 寺澤 薫 七ヶ浜町は三方を海に囲まれ、豊かな自然に恵まれた風光明媚な町であり、古くから海と密接に関わり、生活が営まれてきた本町にとって、水環境保全は重要な責務であると考えております。 七ヶ浜町は、古くから海と密接に関わり生活が営まれてきた歴史があり、将来にわたり保護、保全し、次世代に引き継いでいかなければなりません。 そのためにも、町民の皆様、関係団体の皆様とともに、環境保全に取り組んでまいりたいと考えております。 結びに、貴会の長きにわたる水環境保全活動に対し深く敬意を表しますとともに、石けん運動の輪が更に広がりますことをご祈念申し上げます。	シャボン玉月間に寄せて 大和町長 浅野 俊彦 大和町は宮城県のほぼ中央に位置し、七ツ森や船形山、吉田川をはじめとする豊かな自然に恵まれたまちです。 今年の合言葉「～水は巡る～せっけんで、きれいな水をきれいなままで～」は、日々の暮らしと水環境のつながりを改めて見つめ直す言葉として、深く共感いたします。本町においても、美しい水環境を未来の世代へ引き継ぐために、河川・湖沼の水質保全を目的とした清掃活動や水質モニタリングを継続するとともに、環境負荷の少ない暮らし方の普及に取り組んでまいります。 せっけんの使用は、一人ひとりが身近なところから環境保全に貢献できる実践です。貴会のご活動が全国へさらに広がることを心よりご祈念申し上げます。



7 月はシャボン玉月間・首長メッセージ③

せっけん運動ネットワークは石けんの使用を入り口に水環境を守る視点から、幅広く暮らしを見直そうと活動している団体です。あいコープみやぎも加入しており、毎年7月をシャボン玉月間として全国の自治体の首長からメッセージを集め冊子にまとめています。

石けん環境委員会でも宮城県内の各市町村にお願いしメッセージをいただきました(メッセージは2026年5～6月にいただいております)。

「シャボン玉月間」に寄せて 多賀城市長 深谷 晃祐 多賀城市は、奈良時代初期に陸奥の国府が置かれ、2024年に多賀城創建1300年を迎えた、歴史あるまちです。 市内北部には国宝「多賀城碑」がある特別史跡多賀城跡から続く加瀬沼公園、中心部には砂押川が流れ、自然豊かな環境と歴史的風致を形成しています。 このようなかけがえのない環境を守り、将来の世代へと継承するため、本市では第三次多賀城市環境基本計画を中心とした地球温暖化対策やごみの減量化など、持続可能で安心して暮らせるまちづくりに向けた環境施策を推進してまいります。 結びに、貴会の長きにわたる水環境保全の取組に敬意を表しますとともに、シャボン玉月間の活動を通じ、市民の環境問題への関心が一層高まることを心より期待申し上げます。	「シャボン玉月間」に寄せて 富谷市長 若生 裕俊 富谷市は、持続可能な未来を目指す「ゼロカーボンシティ」に加え、豊かな自然環境を将来に引き継ぐため、令和8年3月に「ネイチャーポジティブ(自然再興)」を宣言しました。 この豊かな環境を次世代へ引き継ぐためには、日々の暮らしの中にある「環境を思いやる心」の積み重ねが何より大切です。 生活に欠かせない水資源を守り、自然との共生を呼びかける貴会の取組は、生物多様性の保全にもつながる大変意義深いものと感じております。 長年にわたる皆様の主体的な歩みに深く敬意を表しますとともに、この活動の輪が、市民一人ひとりの環境意識を育むきっかけとして広がりますよう、心よりご祈念申し上げます。
「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて 登米市長 熊谷 康信 登米市は、市内を南北に流れる北上川や迫川をはじめ、ラムサール条約湿地に登録されている伊豆沼・内沼、国際A級コースの長沼ポート場など、「水の里」として豊かな自然環境に恵まれた地域です。 本市が目指す将来像「あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまちとめ」の実現に向け、湖沼等周辺の清掃や植樹活動、環境保全型農業の推進といった取り組みにより自然環境を守り育てるとともに、この豊かな自然環境を後世へ引き継ぐため、今後とも市民や事業者の皆様との協働のもと、自然と共存するまちづくりを目指してまいります。 結びに、貴会の長年にわたる環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、今後益々運動の輪が広がりますことを祈念申し上げます。	【シャボン玉月間に寄せて】 名取市長 山田 司郎 名取市は、東に太平洋を臨み、西には五社山や外山といった里山が連なる、自然の恩恵に富んだ地域です。市内には樽水ダムや今年度竣工を迎える川内沢ダム、そして増田川・川内沢川・志賀沢川といった河川が肥沃な名取耕土を育んでいます。 私たちは、この大切な水環境を守り、市民の皆様の意識を高める取り組みとして、毎年、川内沢川上流での「ホタル観察会」や、増田川中流での「水生生物観察会」を実施し、市民が身近な自然とふれあう機会を大切にしております。 これからも恵み豊かなこの郷土を保全し、かけがえのない「愛されるふるさと なとり」の良好な自然環境を次世代へ確実に継承してまいる所存です。 貴会の長年にわたる活動に深く敬意を表しますとともに、今後、活動が益々発展されますよう心よりご祈念申し上げます。
「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて 東松島市長 渥美 巖 東松島市は、一級河川鳴瀬川・吉田川、二級河川定川が流れる太平洋に面し、日本三景松島の一角を占める「奥松島」を有する豊かな自然に恵まれたまちです。 本市は、平成30年6月に全国29自治体の一つとして「SDGs未来都市」、令和4年6月には環境省から「第1回脱炭素先行地域」に選定され、どちらも宮城県初であり、2050年カーボンニュートラル実現に向け、被災元地への太陽光パネル設置推進や、海洋環境保全に取組む団体への側面支援、また市内小学生に対する環境教育等により、市民・団体等と連携した取組を進めております。 貴会の長年にわたる水環境保全の活動に、深く敬意を表しますとともに、活動の輪がさらに広がることをご祈念申し上げます。	「シャボン玉月間」に寄せて 松島町長 櫻井 公一 松島町は、日本三景の一つとして世界に名高く、雄大な自然美や豊富な農水産物、国指定の特別名勝をはじめとする多くの歴史文化遺産に恵まれた町です。このかけがえのない環境を次世代へ引き継ぐことは、私たちの使命であります。 本町では、長期総合計画に基づく循環型まちづくりの推進に加え、町民・事業者・町が一体となって取り組むための指針として「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」を策定し、温室効果ガスの削減に向けた施策を力強く展開しております。特に、豊かな海を守るためのごみの減量化やゼロカーボンシティの実現は、重要な柱となっております。 水環境の保全という共通の目的のもと、長年にわたり活動を続けてこられた貴会の皆様の情熱に、深く敬意を表します。皆様の活動の輪が今後ますます広がり、美しい自然環境が未来永劫守られますことを心より祈念申し上げます。

7 月はシャボン玉月間・首長メッセージ④

「シャボン玉月間」に寄せて

美里町長 相澤 清一

美里町は、宮城県の北部に位置し、奥羽山脈を水源とする江合川と鳴瀬川の豊かな水に育まれ、肥沃な田園が広がる自然豊かな町であり、「持続可能な水田農業を支える『大崎耕土』の伝統的水管理システム」が世界農業遺産に登録されております。

この豊かな自然と清らかな水に恵まれた、かけがえのない環境を未来へつないでいくため、町ではごみの減量化、再生可能エネルギーの推進や地球温暖化対策など、持続可能なまちづくりを進めております。

貴会の長年にわたる環境保全の取組に敬意を表しますとともに、シャボン玉月間を通じて、環境に優しい暮らしへの理解と実践の輪がさらに広がりますよう、心からご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7 月はシャボン玉月間」に寄せて

利府町長 熊谷 大

利府町は、宮城県のほぼ中央部に位置しており、特別名勝松島、宮城県民の森などの豊かな自然に恵まれています。また、スポーツ・レクリエーションの拠点となる宮城県総合運動公園「グランディ・21」や大型商業施設の立地など、都市と自然が調和・共生している町です。

本町は、令和4年に利府町ゼロカーボンシティを表明し、省エネ家電買換等促進補助金事業を展開するなど、一般家庭における脱炭素社会への意識醸成を図る取り組みを推進しています。今後も、町民の皆様と共に、環境保全事業に取り組み、環境負荷の少ないまちづくりを目指してまいります。

貴会の長きにわたる活動に対し、深く敬意を表しますとともに、今後、活動がより一層充実したものになりますよう、心から御祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

亘理町長 山田 周伸

亘理町は、阿武隈川や太平洋の豊かな水資源の恩恵を享受しながら、東北一の生産量を誇る「いちご」を中心に農業と漁業を基幹産業として発展してまいりました。

町では、令和4年の「亘理町ゼロカーボンシティ宣言」に基づき、地球温暖化対策を総合的に推進しており、環境にやさしい持続可能なまちづくりに取り組んでいます。また、町民・事業者・行政が協働して、環境基本計画を推進し、3Rの啓発活動を通じた環境負荷低減対策を進めています。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、「せっけん運動」が日常生活の中で環境への配慮を実践される貴重な機会となり、活動の輪がより一層広がりますよう心からご期待申し上げます

「せっけん使おう!7 月はシャボン玉月間」に寄せて

南三陸町長 千葉 啓

分水嶺に囲まれた南三陸町は、森林から湧き出た水が川を通り、ラムサール条約湿地の「志津川湾」に続いています。その流れの中に人々が生きる里があり、南三陸の人々の営みは森・里・海のつながりそのものです。

この水は、巡り巡って全国の海へとつながっています。ネイチャーポジティブ認証自治体である当町は、「ひと 森 里 海 いのちめぐるまち 南三陸」を掲げ、自然の恵みを大切にするまちづくりを推進しております。

シャボン玉が光を浴びて輝くように、私たちの小さな工夫が未来を明るく照らす。そんな循環を願う皆様の活動に深甚なる敬意を表し、せっけん運動のさらなるご発展を心からご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

山元町長 橋元 伸一

山元町は、宮城県の最東南端に位置し、東は太平洋に面し、西は阿武隈高地の北端をなす丘陵地が南北に連なる自然豊かなまちであり、県の「緑地環境保全地域」「自然環境保全地域」に指定されています。

本町では、今年2月に「山元町ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、町民・事業者・行政が協力しながら本町の貴重な宝である自然環境を次代へ継承するため、環境負荷の少ない、自然環境を活用したまちづくりを進めています。

貴会のせっけん運動は、自然を守る取り組みとして大変意義のあるものであり、深く敬意を表するとともに、今後、ますます運動の輪が広がりますよう、心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

涌谷町長 遠藤 釈雄

涌谷町は、宮城県北部・大崎平野の東に位置し、奈良時代に東大寺大仏建立の際に金を献上した日本初の金の産金地として知られ、南を江合川、北を迫川、東を北上川に囲まれ、中央部には篁岳山と加護坊山を結ぶ丘陵が連なる水利に富んだ地形で、豊かな自然環境に囲まれ、稲作や園芸栽培を中心とした農業が盛んな町です。

当町ではこの美しい自然環境を保全し、次世代へと受け継いでいくため、公共下水道の整備や合併浄化槽の設置に対する補助事業を実施し、環境保全に関する取組を推進しています。

結びに、貴会の長年にわたる水環境保全の活動に敬意を表しますとともに、今後のますますのご発展をお祈り申し上げます。

【後援】宮城県、石巻市、岩沼市、大崎市、大郷町、

大衡村、女川町、加美町、栗原市、気仙沼市、

塩竈市、七ヶ浜町、仙台市、大和町、多賀城市、

富谷市、登米市、名取市、東松島市、松島町、

丸森町、美里町、南三陸町、山元町、涌谷町、

亘理町の 26 自治体から頂きました。

